

富士運輸株式会社

自社の強みに特化 ニーズに応えるサービスは、 従業員を大切にすることで生み出す

奈良県に本拠地を置く富士運輸株式会社は、関東以西で営業展開し、精密機器や薬品などの長距離輸送を手掛ける輸送企業。

10年で約20倍もの規模に拡大した同社は、この7月から30台一括導入したGカーゴにより郵便輸送をさらに拡大し、松岡社長の指揮の下でさらなる成長を続けている。



- 1 富士運輸株式会社本社が入居しているビル
- 2 2002年に取得したISO9001認証
- 3 「小さな案件でも必死にコツコツ取り組むことで、大きな案件に繋がると考えています」と語る代表取締役 松岡 弘晃氏
- 4 本社オフィス

長距離の都市間輸送に力を注ぎ、県外での事業拡大を図ってきました」

と松岡社長は語られた。現在同社は、従業員数630名、車両台数は570台を数えるまでに成長し、県下で最大規模の輸送企業として活躍している。

全国的に輸送ビジネスを展開する同社では、24時間年中無休営業を行い、航空貨物専用輸送車、精密機器専用輸送車、郵便専用輸送車、冷凍冷蔵車、空調車など、多岐に渡る仕様の車両を取り揃え荷主企業のニーズに対応。特にOLT（空港間輸送）には力を入れており、成田空港、中部国際空港、関西空港、福岡空港などを繋ぐ輸送を行っている。そしてこれらの空港の所在地を取り巻くように、東日本地区、西日本地区、九州地区で合わせて20の支店・営業所・配車センターを展開している。

「『得意な分野で成長させる、不得意な分野は行わない』ということを念頭に、やることとやらないことを明確にしています」

荷主ごとの専用マニュアルと独自の車両装備の充実で輸送品質を徹底追求

2002年には品質マネジメントシステムの認証ISO9001を取得。その中で構築された仕組みに基づき、荷主企業ごとに、初めて運行を行う際には営業担当と配車担当が乗務員に同行する。これは、業務内容をチェック・分析し、それをもとにして荷主企業ごとの業務マニュアルを作成し、顧客ニーズにかなった輸送を実現するためだ。

月に一度行われる「優秀社員表彰」の詳細が同社ホームページに掲載されているが、その表彰内容を見てみると、社内での評価のみならず、「お客様より高評価をいただきました」といった顧客からの評価が多数見られ、同社の広い営業展開エリアと合わせ、荷主企業に

古都奈良から全国へと急成長を遂げる

遷都1300年を迎えた古都奈良で、近年急成長を遂げている輸送企業、それが富士運輸株式会社である。同社は昭和53年、6台のトラックによる集配業務からスタート。その後、路線輸送を行っていた大手輸送企業の業務の請け負いへと業態を変更するなど、時代に合わせ成長してきた。

現在、同社の代表取締役を務めるの

が松岡弘晃氏。入社する以前はトラックディーラーで整備や営業を行っていた経歴を持つ社長だ。

「私が入社したのは平成8年で、28歳の時のことです。その後、先代から引き継いで代表に就任しました。いま当社には奈良の他に、名古屋、東京、成田などに拠点がありますが、これはマーケットが割合小さい奈良だけで拡大を図ってしまうと、他社さんと過度な競争・競争関係に陥ってしまうと判断したからです。以来、

提供する輸送サービスの量・質ともに、盤石の体制が整っていることが見てとれる。

執行役員で営業部長の中西学氏によれば、荷主企業に赴いた際には、必ず乗務員の質について尋ねるのだという。「物を売る仕事と違い、輸送サービスを提供する仕事はまさに人材が命だからね。お客様の声に耳を傾け、常にサービスを改善・充実させることを徹底しており、普段の営業活動の他にも、年に2回ほどお客様にアンケートにお答えいただくなどしています」

もちろん、輸送品質向上のためには、従業員教育だけでなく、先に述べたような多岐に渡る仕様の車両を取り揃え、デジタコを始めとする各種車両装備の充実も行っているが、とりわけ目をひくのが、全車両への大型消化器の搭載だ。同社は今年1月、車両火災実証訓練を行った。これは、万が一の事故の際に車両火災が発生した場合、車両はどのように燃えるのか、鎮火するには具体的にどういった対処が必要となるのか、といったデータを取るために行われたものだ。その結果、万全の対応を行えるよう、大型消化器を装備したのである。社会的に見ても意義の大きいこの実験の反響は大きく、マスコミで取り上げられるとともに、荷主企業からの評価も高いという。「営業活動の際、実験の様子を収めたDVDをお持ちし、見ていただくのですが、こうした取り組みの姿勢を評価いただき、お仕事獲得に繋がったケースもあ



1 執行役員 営業部長(西日本地区担当) 中西 学氏
 2 整備課 工場長 瀬野 博之氏
 3 今年1月に行った車両火災実証訓練のレポート(同社ホームページよりダウンロード可能)
 4 6月に導入した郵便輸送で運行しているギガGカーゴ
 5 左リアオーバーハング部には、消化器を装備。
 6 床板には、カゴ車の使用を考慮し、強度に優れたパンプフロアを採用。
 7 納車の際には、1台1台お祝いが行われました。
 8 指定整備工場の認証を受けている同社整備工場

ります」と中西部長は語られた。

郵便輸送のスタートに伴い いすゞGカーゴを30台一括導入

同社は、6月に郵便輸送仕様のいすゞGカーゴを30台一括導入している。従来からある車両に加え、一度に30台増車するにあたり、そのメンテナンスにかかる負担はかなり大きくなるが、同

社は100%自社整備で対応している。

車両整備を統括されている、整備課工場長の瀬野博之氏に詳しく話をうかがった。

「1台の車両の月間走行距離は、3万キロを超えます。台数が多く、車検や法令点検で毎日車両が入ってきます。車両台数は多いですが、運行前点検や修理依頼書は全国で統一のものを使用し、

整備品質の確保に努めています」

また、瀬野工場長は普段から車両をきれいに使用することを徹底して指導しているという。

「車両が汚ればなすだったり、整理整頓ができていない場合は、必ずと言っていいほど事故が起きるものです。注意力が散漫になっているのでしょう。ですから、そうした車両を見かけた際には、運行を止めてでも整理整頓・掃除をするように指導しています」

早くよりIT化を推進 充実したホームページ

同社のホームページを見てみると、会社の紹介から各支店・営業所の紹介、運行する車両の仕様などに関する詳細情報、安全や環境に関する取り組みに

ついてなど、バラエティ豊かなページづくりに、思わず見入ってしまう。そしてその一つ一つの内容がかなり詳細なことに驚かされる。同社はかねてよりITの活用を力を入れており、その充実ぶりに対し、2009年には経済産業省より「IT経営実践認定企業」として認定されている。

このIT推進について、松岡社長はこのように語られた。「もともとは、当社に入りたいと思われている方、当社で働く従業員の家族向けに考えたホームページなんです。『富士運輸とはいったいどんな会社なのか?』とか『お父さんはどんなところで働いているんだろう?』とか、そういったことが目に見えるホームページを作ったかったんですよ」

「お客様より従業員を大切に」という言葉に込められた意味

同社には、「お客様より従業員を大切に」という言葉がある。

「これは、お客様にも普段から申し上げているセリフです。従業員を大切にすることは、従業員のモチベーションが高まり、結果的にお客様に最良のサービスをご提供することができる、という意味が込められた言葉なんです」

この考えに基づき、松岡社長は毎日、社員全員にメールを送ることで、会社の情報公開や、社長からのメッセージを伝え意識の共有化を図っている。

また、管理職登用の際には任命するのではなく、立候補者を募るという方法をとっているという。もともと同社には「乗務員としてというよりも、マネジメント職をしていきたい」との思いを胸に入社する人材が多いとすることで、こうした志を尊重し、自分の頑張り次第で希望を叶えることができる仕組みを用意することで、働きがいのある会社づくりを実現しているのだ。

最後に、今後の展望について松岡社

長はこのように語られた。「企業はいかに長生きできるか、ということが大変重要であり、そのための強い基盤をつくっていきたくと考えています。輸送企業として、小さいことからあっても『新しい』と言えるビジネスモデルを見つけたいですね。」

また今後3年計画で、新たに5箇所の営業所を開設し、他社に真似出来ない長距離ネットワークを構築しようと考えています。2010年の展開としては、大阪市の淀川区に阪神営業所を開設し、9月には羽田空港の国際貨物ターミナル内に営業所を開設予定です。これらの取り組みで運行網がさらに充実し、最適な配車が行えるようになります。その結果、長時間労働等の解消に繋がるので、今後ますます厳しくなる労働関連法規の遵守と、従業員の安全確保をより確実に行うことができ、ひいてはお客様にも安心してご利用いただける長距離輸送サービスのご提供が実現できると考えています」

【取材メモ:経営戦略のポイント】

得意な分野に特化して営業を行っています
 荷主企業ごとの業務マニュアルを作成し、輸送品質向上に努めています
 IT活用を積極的に推進しています
 従業員を大切にして、お客様へのサービス向上を図っています

【会社概要】

会社名: 富士運輸株式会社
 所在地: 奈良県奈良市北之庄町 719-1
 設立年月日: 1978年4月
 代表取締役: 松岡 弘晃(まつおか ひろあき)
 従業員数: 630名
 保有車両台数: 570台



内容の充実が先さることながら、働く人の「顔」がよく見えるホームページです。